

美しく生きる、
亡命チベット人の
真実の物語。

上映後、トークセッションあり！
小川真利枝監督×山本達也氏
(静岡大学・准教授)

ソナム

བསོད་ནམས།

小川 真利枝 監督作品

ヒマラヤを越えた亡命者の仮の町、
インド北部ダラムサラ。

望郷の想いを胸に秘め、
逞しく生きる少年を希望の光がつつむ。

2016年3月6日(日)14~17時

南山大学名古屋キャンパス
R棟地下フラッテンホールにて

※入場無料、事前登録不要

主催：南山大学人類学研究所

期待と不安に揺れる 難民収容所の生活を、 カメラが初めて捉えた。

チベットを離れ、ヒマラヤを越えた亡命者がネパールを経て
辿り着く地、ダラムサラ。今日もまた、亡命者たちを乗せた
車がダラムサラの難民一時収容所に到着した。「自由を求
めて」「ダライラマ14世をひとめ見に」「チベットらしい
教育を受けるために」など、故郷を後にした理由はさまざま。
ただ、一家での亡命は危険を伴うため、幼い子どもでも
家族と離ればなれになる。亡命者たちは難民一時収容所に
保護された後、インドの住民票を得て、年齢や職業に応
じた学校や寺院などへ送られる。望郷の想いを胸に秘め、
遅しく生きる少年の姿を1台のカメラがみつめた。

Dharamsala
ダラムサラ

TIBET

CHINA

Delhi

NEPAL

BHUTAN

INDIA

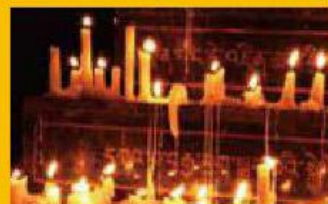
物語の舞台は、インドの首都デリーから
北へ500km、ヒマーチャル・プラデーシュ
州にある標高1800mの山間の町。1959年、
チベットに中国の統治が及び、指導者
ダライラマ14世がインドへと亡命、この
地に亡命政府を樹立した。現在は、13,000
人以上のチベット本土からの亡命者、
亡命2世、3世が暮らし、世界中に散ら
ばる15万の亡命チベット人の心の拠り所
とされている。

家族と別れ叔父と2人亡命した10歳の少年ソナム



受難つづくチベット

世界の屋根ヒマラヤ山脈の北に広がる「雪の国」チベットは、現在は
中国の一部となり、宗教や表現の自由が制限されている。こうした状況
の中で、チベット人の悲痛の叫びが、自らに火をつける焼身抗議へと至り、
現在では100人以上が命を落としている。本作品でも、町内放送やラジオ
から流れる故郷の出来事に心を痛め、祈りを捧げる人々が登場する。



監督・撮影・編集：小川真利枝
コーディネーター：中原一博 / 翻訳：ケルサン・タウフ
英語字幕：長谷川美樹 / ポスターデザイン：青山麻希
2014年 / ドキュメンタリー / 78分 / チベット語 /
HD / カラー・ステレオ / 日本語字幕付き

<http://twilight-dharamsala.jimdo.com/>

監獄にいる政治犯の夫を
待ちながら、道端でパンを売る
女性ラモツォ

新作『ラモツォの旅(仮)』
2015年完成予定

